

地域に学ぶ

# トライやる・ウィーク

## 体験記

問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087

5月22日～6月11日に、中学生体験活動週間「トライやる・ウィーク」を、市立3中学校が行いました。11月6日からは、県立芦屋国際中等教育学校が行う予定です。

市立3中学校の生徒の体験記を紹介します。

### ■ 芦屋市消防本部(潮見中学校)

潮見中学校の6人は、消防本部で普段厳しい訓練を重ねている消防職員とともに、救助服を着て本番さながらの訓練を体験しました。



#### Q.一番印象に残ったことは？

A.阪神・淡路大震災で出動した職員から聞かせてもらった救助の体験談や当時の状況

A.体験中に教わった「怒られたと思わず、教えられたと思うこと」という言葉

#### Q.消防士のイメージは変わった？

A.責任の大きな厳しい仕事だと思った

A.協力することの大切さを学んだ



### ■ フィッシングマックス芦屋店(精道中学校)

精道中学校の5人は、フィッシングマックス芦屋店で、小売店の仕事を体験しました。最終日には商品の理解を深めるために、釣り体験もできました。



#### Q.体験を通して学んだことは？

A.あいさつすることの大切さ A.地域とのかかわりの大切さ

#### Q.一番印象に残ったことは？

A.店内だけでなく店外の清掃も大事だということ

A.レジの体験をした時の店員さんの対応と優しさ



### ■ 芦屋川ナーサリー(山手中学校)

山手中学校の4人は、芦屋川ナーサリーで、先生と子どもたちと、保育園の仕事を体験しました。



#### Q.体験を通して学んだことは？

A.子どもたちと目線を合わせて笑顔で接する大切さ

A.子どもたちに優しくするだけでなく時に厳しくすることの大切さ



指導いただいた事業所や応援いただいた地域の皆さん、本当にありがとうございました。今年度は、104もの事業所のご協力を得て実施しました。

新たにトライやる・ウィークの受け入れをお考えの事業所の人は学校教育課(☎38-2087)へご連絡ください。